

週間
ベストセラー

『人生を逆転する学校』 宮澤保夫著



「普通の先生になりたい人は帰ってください」
毎年、教員採用説明会の第一声でこの言葉を発する男。それが教育界の風雲児、星槎グループ会長の宮澤保夫さんです。いまでは各地で当たり前のように見られる、学習センターを使った登校型通信制高校。その仕組みを日本で初めて作り、普及させた立役者。なぜ作ったのか？ 学習障害がまだ知られていなかった約30年前に、子供達の「場」を創ることを決意したから。

編集者
発見

角川書店編集部第三編集部

岸山 征寛さん

たった2人の生徒から始めた塾は、グループ全体で1万7000人の若者が集う「学校」に成長しています。
長年の闘いを支えたのは、「できないことを立証するのは難しい」という信念。おかげで私も作業中は「難しい」「できない」といったマイナスの言葉を吐けなくなり、様々な汗をかきました。が、訴えたいことがあり、それが生き様と結びついている。『デフレの正体』の藻谷浩介さんもそうですが、そのような著者と巡りあえるのは編集者冥利につきます。
冒頭にあげた宮澤さんの発言後、休憩時間に半数近くの人は本当に帰ってしまうそうです。しかし、「私は残る」と思われる皆様には、心がとても熱くなる一冊だと断言します。
(1500円)